平成 26 年 12 月 6 日

北海道支部競技会における 10mSCATT 種目競技の変更について

日本学生ライフル射撃連盟 北海道支部
平成 27 年度競技審判委員長 星原悠希

近年のライフル射撃競技者増加に伴い、今後の大会運営が困難となる場合が想定される。そのため、平成27年度よりSCATT種目競技の出場に人数制限を設ける。種目を10m SCATT立射40発競技に変更し、競技時間は電的を用いた10mエアライフル立射40発競技と同様とする。

また、エアライフル種目の射座数を十分に確保するために、SCATT種目競技はビームライフル射座でのみ競技を行う。

以上の事を踏まえた上で、SCATT種目競技の実施において、各校が大会で使用できるSCATTは１台までとし、大会１日にSCATT１台で行う射群は４回転までとする。

対象となる競技会は春季北海道学生ライフル射撃選手権大会、夏季北海道学生ライフル射撃選手権大会、秋季記録会、最終戦・新人戦・引退戦とする。